

事業番号	事務事業名	上齋原文化センター臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 2 年度課長名	黒瀬 豊
06370	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	生涯学習係	担当者・シート作成者	平田 誠
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	上齋原文化センター条例・同条例施行規則 指定管理者の指定に関する条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴァルトホール入口風除室天井修繕 ・上齋原文化センター温泉管分岐部分漏水修繕 ・上齋原文化センター身体障害者用トイレ修繕工事 	指定管理者からの報告にて天井、漏水の知らせをもらい判明した。 障害者用トイレに関しても指定管理者が漏水調査を行っている時に判明し、併せて便器の更新も行った。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込 実績			12,143 12,625		
イ	イ 上齋原地区住民人口	人	見込 実績			600 534		
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 生涯にわたりテーマを持ち学習してもらおう	ア 施設利用者数	人	目標 実績 達成率			3,000 5,155 171.8%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 設計委託	ア 委託件数	件	目標 実績 達成率			3 3 100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 10 教育費	項 06 社会教育費	目 03 社会教育施設費	大事業 01 中事業 52	予算上の事業名	上齋原文化センター臨時管理費	事業番号	06370								
予算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	決算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源	998	4,013	1,987			-2,026	一般財源	994	4,012	1,987			-2,025				
合計	998	4,013	1,987			-2,026	合計(A)	994	4,012	1,987			-2,025				
財源名称	従事正職員人数						1	1	1								
	延べ業務事務時間						20	21	37				16				
	人件費計(千円)(B)						68	74	124				50				
最終予算額		1,987 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		1,062	4,086	2,111	-1,975				
主な支出事業内容(予算)	工事請負費						1,987 千円										
	主な支出事業内容(決算)						工事請負費						1,987 千円				

事業番号	06370	事務事業名	上齋原文化センター臨時管理費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	----------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
地域人口の減少により利用は減少しているが、文化・住民活動の拠点となる重要な位置づけは変わっていない。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特になし。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
点検業者からの点検内容を元に指定管理者から修繕の要望が寄せられていた。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	公共施設の修繕ということで政策体系に結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	公共施設であり、20万円を越えることから行政直営で行うことが妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	施設の利用につながる事であり、適切と考えている。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	指定管理者を含めた協議を行っており、目標水準に達している。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	利用者への安全を考えると必要なため、廃止・休止は考えられない。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	業者等への施工の指示を行いながら実施したためこれ以上の改善余地はない。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	上記と同様の方法を行ったため事業費の削減を行うことはできない。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	現状以上の人的削減は困難である。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	利用者全体に関わる事であり、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	現地を良く知る業者の施工だったこともあり円滑に修繕が進んだ。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 特になし。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
特になし。																									